

感染状況・医療提供体制の分析(12月22日時点)

【岡山県専門家有志】
(東京都統括コメント参照)

詳細



区分	モニタリング項目 * ①～③は過去1週間合計		前回の数値 (12月15日時点)	現在の数値 (12月22日時点)	前回との比較	分析コメント	
感染状況	①新規陽性者数	総数 (人口10万人当たり)	4人 (0.2人)	3人 (0.2人)	→	総括 コメント	レベル1. 感染者数は一定程度にとどまっている
		60歳以上 (総数に占める割合)	0人 (0%)	1人 (33%)	↗	新規陽性者は <u>人口10万人当たり0.2人</u> と少数だが、接触歴不明者も存在し、感染伝播は少ないながらも継続。 オミクロン株の感染の拡がりが危惧される中、年末年始に突入する。これまで、全国的な人の移動が活発になった後に感染が拡大しており、年末年始後の感染者数の動向に注視が必要。ワクチン接種推進や接種完了後の感染対策など、現在の基本的な感染対策の徹底が必要。	
	②圏域別 新規陽性者数	県南東部	3人	2人	↘		
		県南西部	1人	1人	→		
		高梁・新見	0人	0人	→		
		真庭	0人	0人	→		
		津山・英田	0人	0人	→		
	市中潜在 ③新規陽性者 における 接触歴不明者	数	3人	2人	↘		
		割合 (③/①)	75%	67%	↘		
医療提供体制	④入院患者数 (確保病床における入院割合)		4人 (1%)	4人 (1%)	→	総括 コメント	レベル1. 通常の体制で対応可能であると思われる
	⑤宿泊療養者数		4人	0人	↘	宿泊・自宅療養者数は減少。 通常医療は引き続き安定的に維持・提供できている。	
	⑥自宅療養者数		1人	0人	↘		
	⑦重症者数		1人	1人	→		